

第8回 第6期雄武町総合計画策定審議会 議事録

【日 時】 平成29年11月30日(木) 19:00～19:30

【場 所】 役場庁舎 中会議室

【出席者】

委 員	河島 仁	委員	鉄川 潤	委員	安田 将治	委員
	新山 貴文	委員	佐々木伸行	委員	大場 道子	委員
	久保 毅剛	委員	大星 幸恵	委員	中島 克弥	委員
	相坂 英代	委員	直井 香織	委員	工藤 瞳	委員
	渡邊 恵	委員	山崎 穰	委員	桑井 美彦	委員
	高橋 進	委員	渡部 康太	委員	白石 豊喜	委員
	山片 正晃	委員				
欠 席	加藤 孝義	委員	三河 貴明	委員	池 慶二	委員
	田口 洋	委員				

事務局 佐々木財務企画課長 大木財務企画課長補佐
砂原企画調整係 早坂企画調整係 本村企画調整係

- 【会議次第】
1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 議事
 - (1) 第6期雄武町総合計画基本構想及び前期基本計画答申(案)について
 - (2) 答申書及び付帯意見(案)について
 4. その他
 5. 閉会

- 【配布資料】
- ・ 第6期雄武町総合計画第8回策定審議会議案
 - ・ 【資料1】 第6期雄武町総合計画(審議会答申案)
 - ・ 【資料2】 答申書及び付帯意見について
 - ・ 【追加資料】 第6期雄武町総合計画策定経過等について

1. 開会

【佐々木財務企画課長】

皆様、お晩でございます。本日は夜分遅くにも関わらず、また寒い中皆様にお集まりいただきありがとうございます。ご案内の時間になりましたので只今から第8回の策定審議会を始めます。会長から挨拶いただいた後、会議に入らせていただきますので、よろしくお願いします。

2. 会長あいさつ

【河島会長】

皆様こんばんは。今日の昼までは雪模様でしたが、昼からは良く晴れ、本日で最終となる審議会を晴れ晴れとした気分で終了させるようにとされている気がしました。本日も皆様の貴重な意見を伺いながら進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

【議事】

(1) 第6期雄武町総合計画基本構想及び前期基本計画答申（案）について

【大水財務企画課長補佐】

皆様、こんばんは。本日の配布資料は、資料1の「第6期雄武町総合計画審議会答申（案）」、資料2の「答申書及び付帯意見（案）」、追加資料の「策定経過」の3種類です。

議事（1）「第6期雄武町総合計画基本構想及び前期基本計画答申（案）」に入る前に、追加資料について説明します。追加資料では第6期雄武町総合計画の約1年の策定経過が記載されています。

昨年11月1日、第1回の審議会を開催し、町長から委嘱状の交付、会長の選任や諮問書の伝達を受けています。

12月1日、第2回の審議会が開催され、人口ビジョン概要報告、役場の若手職員を交えて1回目のワークショップを実施しています。

同日、産業団体のヒアリングのために観光協会、漁業協同組合、次の日には、水産加工業協同組合、森林組合からヒアリングを実施しています。平成29年2月22日には北オホーツク農協雄武支所、商工会からも同様にヒアリングを行っており、産業団体の計6団体からヒアリングを実施しています。ご協力いただきありがとうございました。

同日の2月22日、第3回の審議会を開催し、まちづくりアンケート集計結果報告、第2回目のワークショップを行っています。

5月26日、第4回の審議会が開催され、ワークショップのまとめ報告、第5期総合計画の検証、第6期計画に向けての課題及び将来像を協議しています。

7月26日、第5回の審議会では、第6期計画の将来像、基本構想素案について協議しています。

10月24日、第6回の審議会を開催し、基本構想案と前期5ヵ年の基本計画素案について協議しています。

10月31日、第7回総合計画策定審議会では、第6期前期基本計画素案、前期財政計画の概要を説明しています。

11月9日から15日までの期間内で、「総務・行財政専門部会」、「産業建設・環境専門部会」、「社会福祉・教育専門部会」に分かれて、各部会ごとに2回開催しています。

本日、第8回総合計画策定審議会では、第6期計画基本構想及び前期基本計画答申（案）、答申書及び付帯意見（案）を協議していただくこととなりますが、ここで承認いただければ本日が最後の審議会となります。

12月以降の日程については、今回承認いただければ河島会長から町長へ答申を行うこととなります。

追加資料の「策定経過」の説明については以上です。

続いて、議事（1）の資料1「第6期雄武町総合計画（審議会答申案）」です。前回の第6期雄武町総合計画（案）の内容から一部修正が生じたので、変更点を確認いただきたいと思います。

34頁の基本施策指標の「サケ・マス漁獲量」の朱書き部分について、平成25～28年度の平均が約3,000トンの実績でありましたが、昨年度と今年の漁獲量が不漁であることから、平成34年度の目標数値を3,200トンから2,200トンと下方修正をしています。

45頁の「単位施策」の「（3）経済的負担の軽減」ですが、学校給食費の全額補助の部分を「全額助成」と正式な名称に修正しています。

54頁の「基本施策13 環境の保全」をとりまく環境変化の◆4つ目の朱書き部分では、案の段階では「M I C S」という文言でしたが、役場の本部会議内において、行政的な表現であり一般的ではないという指摘があったことから、「雄武町・興部町・西興部村の2町1村において施設を共同で整備する」とわかりやく文言を修正しています。

56頁の基本施策指標の3項目の朱書き部分ですが、案の数字では平成27年度時点の実績値であったことから、平成28年度の実績値に修正しています。

58頁の基本施策指標の「水洗化率」の部分も、平成28年度の実績値に修正しています。そのほかの内容については、これまで説明したとおりです。

議事（1）「第6期雄武町総合計画基本構想及び前期基本計画（答申案）」は以上です。

【河島会長】

ありがとうございます。議事（１）「第６期雄武町総合計画基本構想及び前期基本計画（答申案）」について何か意見はありますか。

意見がありませんので、承認ということでよろしいですか。

【各委員】

了承。

【河島会長】

ありがとうございます。次の議事（２）「答申書及び付帯意見（案）」について事務局から説明をお願いします。

（２）答申書及び付帯意見（案）について

【大水財務企画課長補佐】

議事（２）「答申書及び付帯意見（案）」に入ります。配布資料は資料２ですが、最終的には河島会長から答申書及び付帯意見を町長へ伝達することとなります。２頁の付帯意見（案）ですが、各専門部会での主な意見内容を事務局で集約しています。付帯意見について各部会長から報告いただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【河島会長】

（１）「総務・行財政関係」を部会長の中島委員からお願いします。

【中島委員】

１１月９日、１４日にて開催された２回の会議において７名の委員で審議し、総務・行財政部会からは６項目の意見がありましたので報告します。

「自治会は、協働のまちづくりのために最も身近で基礎となる組織であり、世帯加入率の向上や若年層の加入、戸数の少ない自治会の自主的再編などを促すための対策が求められていること」。

「防災や災害に対する危機意識を高めるとともに、自主防災組織化に向けては、モデルケースの紹介やマニュアル化などの取組みも有効であること。」

「地域における犯罪抑止のため、公共施設等への防犯カメラの設置について検討を進めること。」

「地域情報や行政の支援情報などを内外に周知する情報発信力について、高齢者向けにはよりわかりやすい紙媒体の充実、若年層向けにはＳＮＳを活用するなど、工夫・改善の余地があること。」

「町民の防災・災害に対する危機意識を高めるため、防災訓練の実施や、地域防災計画の町民への浸透を図ること。」

「外国語指導助手の増員に伴い、教育現場を越えた幅広い町民との交流施策が期待されていること。」

総務・行財政部会からの付帯意見は、以上です。

【河島会長】

ありがとうございます。（２）「産業建設・環境関係」を部会長の安田委員からお願いします。

【安田委員】

１１月１０日、１４日にて開催された産業建設・環境専門部会からは、主に６項目の意見がありましたので報告します。

「農業法人化による担い手対策や、環境面でも優れたバイオガスエネルギーの導入、新たな製氷・貯氷施設の整備は、第一次産業と関連産業の振興にも大きな効果が期待されていること。」

「林業はもとより、農業や水産業被害防止にもつながるハンターの育成を着実に推進すること。」

「道の駅及び周辺の機能向上が内外から強く求められており、観光・物産ＰＲや、商業・中心市街地の賑わい創出のため、町民や各種団体も交えた中で、事業構想の検討に着手すべきであること。」

「地域や観光ＰＲとしての「ゆるキャラ」づくりは、後発でも効果が期待できるが、そのためには戦略的な展開が必要であること。」

「合同納骨塚の整備に向けては、町民のニーズ把握を的確に行い、多角的な視点で慎重に検討すること。」

「雇用の拡大や、高齢者等の市街地近居など、需要に応じた住宅の確保策も並行して進める必要があること。」

産業建設・環境専門部会からの付帯意見は以上です。

【河島会長】

ありがとうございます。次に（３）「社会福祉・教育関係」を部会長の高橋委員からお願いします。

【高橋委員】

１１月１０日、１５日にて開催された社会福祉・教育専門部会からは、主に６項目の意見がありましたので報告します。

「経済的理由、地理的理由で不妊治療を断念する事実があり、治療や通院・滞在経費に係る助成制度を拡充することで、一人でも多くの出産につながり、出生率の回復が期待されること。」

「人口減少対策の中でも、医療体制の充実を望む声が多く、今後も国保病院における、本町に常住している医師の確保や、ニーズの高い診療科目の充実など医療体制の確立に努めること。」

「生きがい対策として、高齢者の経験や知恵を活かす仕組みと活躍できる場づくりが求められていること。」

「障がい者個々の特性に応じて、働ける場の提供や、生活支援の充実、居住の確保など、地域で安心して住み続けられるまちづくりが尚一層求められていること。」

「少子化と教員数の減により、中学・高校では、従来規模での部活動の継続が困難となっており、地域として、受け皿となる団体や指導者の確保について、検討が必要な時期を迎えていること。」

「雄武高等学校の地域連携特例校化を契機に、魅力ある高校づくりに向けた地域協議会が設置されることから、有効かつ必要な支援策を協議し、生徒の維持確保に努めること。」

社会福祉・教育専門部会からの付帯意見は以上です。

【河島会長】

ありがとうございます。各専門部会の会長から付帯意見の報告がありましたが、この報告内容について質問や意見はありますか。

【各委員】

意見なし。

【河島会長】

意見がありませんので、議事（２）「付帯意見（案）」については、承認でよろしいですか。

【各委員】

了承。

【河島会長】

ありがとうございます。それでは答申書（案）についてお願いします。

【大水財務企画課長補佐】

ただいま、(2)「付帯意見(案)」について承認いただきました。策定審議会や各専門部会で多くの意見がありましたが、各部会からの付帯意見を6項目ほどに集約させていただきました。不足している部分もあるかもしれませんが、このような内容で整理しました。この付帯意見は非常に重要なものであり、皆様の貴重な意見として町長へ伝わるかと思えます。

答申書主文(案)を事務局で整理しましたので、事務局の本村企画調整係が朗読いたします。

【本村企画調整係】

平成28年11月1日付けで諮問のありました「第6期雄武町総合計画」に関する基本構想及び前期基本計画の樹立について、当審議会において8回の全体会議と6回の専門部会を開催し、慎重に審議を行った結果、別紙意見を付して、別冊のとおり答申いたします。

第6期総合計画の樹立にあたりましては、日本全体が人口減少に突入し、「地方創生」「地域再生」などの取組みが全国レベルで活発化する中で、本計画のめざすべき将来像に掲げる『～郷土愛で築く～次世代へ躍進するまち・雄武』の実現に向けて、自然や基幹産業などが秘める地域力のさらなる発揮や、少子化・人口減少打開のための施策の強化、高齢者や障がい者が住み続けられるまちづくり、小学校から高等学校まで一貫した教育環境の充実、減災の視点に立った強靱な生活基盤・環境づくりなど、郷土愛と町民協働の精神に基づいて、力強く推進されることを期待します。以上です。

【河島会長】

ありがとうございます。「その他」に移りますが、事務局からありますか。

【事務局】

なし。

【河島会長】

それでは、第6期雄武町総合計画の答申の関係につきましては、これで終わりたいと思います。会議の終わりにあたり簡単に挨拶します。約1年間、皆様から色々と意見を頂戴しながら、この会議を進めてまいりました。ご協力いただきありがとうございます。先程、答申書と付帯意見を承認いただき、12月4日には町長へ伝達します。また、雄武町の佐々木財務企画課長はじめとして大水財務企画課長補佐、企画調整係の皆様方にも後ろで支えていただき深く

感謝申し上げます。平成29年もあと1ヶ月で終わります。どうぞ皆様、体にごをつけて新しい年を迎えてください。それでは、この会議をこれで終了したいと思います。本日まで本当にありがとうございました。